

しん じゅ 新 樹

前橋市のホームページからでもご覧になれます

前橋市 新樹 検索

「新樹」=水と緑のまちをイメージし、男女平等の葉が青々と茂るようにという願いを込めました。

◆特集◆

ぐるっとまわってきました!
大きくなった前橋、これからの前橋
～地域を支える輝く人々～……………P.2～4

赤城山のこと
もっと知りたい!



夫婦の絆で育てる「さくらの杜」

公平な役割分担でいきいき酪農生活!



地域で文化おこしを!
～粕川アートフェスティバル～



小学4～6年生が夏休みに記者体験!

- ・ 男女共同参画社会ってなあに?…………… P.5
- ・ 夏休み子ども記者…………… P.6・7
- おじゃまインタビュー
群馬県畜産試験場 ひらばやし はるひ 平林 晴飛さん (獣医師)
とまる ともひさ 都丸 友久さん (研究員)
- ・ 男女共同参画室だより…………… P.8
- ・ 編集後記

子育ての手助けをしてほしい…子育てのお手伝いがしたい…
そんなあなたを応援します!登録者募集中!
前橋市ファミリー・サポート・センターのご案内は5ページです



* 男女共同参画

「参加」は仲間になることで、「参画」は方針決定の場に加わることです。
女性と男性が、社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に共に参画し、喜びも責任も分かち合う社会を目指しましょう。

ぐるっとまわってきました! 大きくなった前橋、これからの前橋 ～地域を支える輝く人々～



平成21年5月5日の富士見村合併を記念して、前橋市内でいきいきと活躍している方達にスポットをあて、市民編集委員が平成16年に合併した大胡地区・宮城地区・粕川地区を含む各地区でインタビューをしてきました。あなたの町にもいきいきと活躍して輝いている人はいませんか？

「赤城山のこともっと² 知ってほしい！」



赤城山れんげつつじの会
しおばら すみこ
会長 塩原 純子さん
赤城山総合観光案内所（富士見町）

赤城山の魅力をもっとアピールしようと、塩原さんが中心となり「赤城山れんげつつじの会」を発足しました。

会長を務める塩原さんの本業は、旅館の女将さん。その傍ら、赤城山の活性化のためにこの会を引っ張っています。

赤城山れんげつつじの会とは

平成17年12月に発足し、会員数34名です。全員が女性であることから、別名「カカア天下の会」とも言うそうです。赤城山の湖畔周辺で宿泊施設や、土産店などを経営する女性が「女性の視点で赤城の歴史や

魅力を再発見し、活気を取り戻そう」と活動しています。外部からの資金援助は受けず、会費で自主的に運営しています。

赤城山の活性化に向けて①観光パンフレットの作成への協力 ②地元の祭りへの参画 ③講師を招いた学習会など様々な取り組みを展開しています。

その結果、会員のみなさんは自主的に勉強するようになり、お客さんに季節の草花の案内ができるようになったといいます。

また、昨年開催された全国都市緑化ぐんまフェアの前橋会場や、今年2月に開催された雪まつりでは、来場者に「カカアの天下汁」をふるまいました。



なぜ女性だけ？

「男性は他の用事で忙しい。会員のそれぞれの本業は、女性が主体になっているし、何より男性だけに任せておけない状況だったから」と話してくれました。自らの手で赤城山を盛り立てたいという塩原さんの強い思いを感じました。

この会が中心となり、赤城山総合案内所のリニューアルにも尽力されました。4月10日にリニューアルした赤城山総合案内所には、赤城山の歴史、赤城を愛した文豪の紹介などを写真やパネルを用いて展示されています。

塩原さんは、資料探しやそのリニューアルにも積極的に参画されました。資料探しには随分ご苦労されたようで、自分の子どものように展示物を紹介してくれました。

合併の利点を活かす観光行政を

最後に合併した新前橋市に期待することは？と聞いたところ、「私たちも現場での役目を果たし、盛り上げていきます。合併して良かったなと思えるような観光行政を期待しています」と話してくれました。（若井）



はせがわ ちづこ みつてる
長谷川 千鶴子さん、光輝さん
さくらの杜 (鼻毛石町)

大好きな赤城山麓に移り住んで

「大沼1周マラソンの帰りに立ち寄ってくれた千葉県の方から『来年も行くからよろしく』との丁寧な年賀状をいただきました。ウチは水曜日が定休なので毎月2回、幼いころ親切にしてもらった91歳の浅草の知人のお世話に上京します。帰宅してみるとポストの中にマラソンのゼッケンに手紙が添えられて入っていました。よりによって不在のときに……申し訳なさの一心でお詫びの

夫婦の絆で育てる「さくらの杜」

手紙を差し上げました。今年こそは何があってもお待ちするつもりです…」と淡々とこんなエピソードを語っていただきました。

偶然始めたランチのみの「さくらの杜」。光輝さんがコーヒーを淹れ、千鶴子さんが手づくりこだわったお料理を作ります。口コミがお客さんを呼び、経営は厳しくてもお馴染みさんに励まされて頑張っています。65歳まで埼玉県で一家を構え、子ども二人は自立、兄弟にも先立たれ、静かな生活を求めて2年前に大好きな赤城山麓のこの地に移り住みました。

「ありがとう」の言葉が言いたい

少しでも年金生活の足しになればと始めてはみたものの、アクシデン

トの数々に見舞われます。開店の忙しさから病気知らずの千鶴子さんの突然の入院、見ず知らずの土地で右往左往。でも、周囲の方々に支えられ、お馴染みさんも増えています。

光輝さんは言います。「私は生来の怠け者、家内には苦勞のかけっばなし。でも、感謝の言葉を口にできない昔者」。

九州女でダブルジョブもこなした頑張り屋の千鶴子さんは「私は『言われなければ分からないのか！察しろよ』の言葉が大っ嫌い」。

3年後には金婚式が待っている。協力し合ってお店を切り盛りするこのお二人だもの、それまでには「ありがとう」の言葉が素直に出るようになっていきますよね。(橋本)

MIYAGI

地域で文化おこしを！ ～粕川アートフェスティバル～

きっかけは呼びかけから

実行委員会代表の三谷さんは、お子さんの治療のため自然豊かな粕川村へ移住してきました。三谷さんは地域文化の活性化をめざして、粕川地区で創作活動をしている方々に「できることからはじめてみませんか」と呼びかけました。

こうして、三谷さんの呼びかけに賛同した方々の自宅などを会場にアートフェスティバルが始まりました。

住民相互の理解度も年々アップして、新旧の住民の交流の輪が広がったそうです。

夢は赤城南面との同時開催

三谷さんは「続けることで自分の励みにもなるし、出会いがある。こ

れからも実行委員の方々に支えられながら今できることをコツコツと積み上げていきたい。赤城南面各地域の表現者たちと、同時開催することが夢です」と話していただきました。

「まだまだできるものを探している最中。今できることから肩を張らずにしていると向こうからきっとやってくる」と言われた三谷さんの言葉がとても印象的でした。

繋がる地域のエネルギー

誰かが一歩踏み出す、誰かの背中を押すことによって始まった粕川アートフェスティバル。地域の人々の文化活性化への想いのエネルギーが、第13回へと繋がるののだと感じました。(鈴木村)



粕川アートフェスティバル実行委員会
代表 三谷 えり子さん
中之沢美術館 (粕川町)

粕川町内で文化活動や創作活動をしている方々が参加し、自宅などを開放して作品を見ていただいたり、お茶を楽しんだりしながらコミュニケーションを図る「粕川アートフェスティバル」は、今年で12回目となりました。



KASUKAWA



さいとう え ひでお
 齋藤 よし江さん、英雄さん
 たけし
 岳史さん、さおりさん(左から)
 齋藤牧場 (大胡町)

公平な役割分担で、いきいき酪農生活！

決め、明文化しておくことは意味がありますね。例えばお昼の準備は、よし江さんとさおりさん『先に手の空いた方がやる』という暗黙の了解でしたが、協定でしっかり決めたので、かえって仕事の効率も上がりました」と英雄さんは話します。

エコロジーにも配慮した 安心できる酪農

60頭の乳牛の給餌、搾乳、また、9町歩の飼料用耕地の管理など、仕事は早朝から夕方まで続きます。生産量と信頼性を高めるため、牛の健康管理は徹底していて、全頭にIDナンバーを記したタグが付けられ、個体ごとの履歴が一目で分かるようになっています。さらに糞は乳酸菌を加えて発酵させ、自作の飼料の堆肥に用いるなど、エコロジーにも配慮しています。

安心できる国産農畜産物を守っていく仕組みがほしい

生き物相手の仕事で休みが取れない、というのが以前の酪農家の悩みでした。現在は協定による仕事分担、また、人手が足りないときに頼むヘルパー制度が充実し、定休はもちろん、家族で旅行に行くことも多いそうです。

「農業は仕事の成果が直接分かり、また、家族との共同作業なのでやりがいがありますね。ただ、乳価は上がったが、物財等の値上がりで、経営的に将来が心配です。日本の牛乳は、生産から流通まで徹底した衛生管理が行われています。信頼できる国産の農産物を守るためにも、乳価の安定化を希望します」と英雄さんは語ってくれました。(高坂)



岳史さんの就農を機会に 家族経営協定を結ぶ

英雄さんご一家は、平成8年に家族経営協定を結びました。次男の岳史さん家族が、家業を継ぐために実家に戻ったのがきっかけです。協定は、仕事の分担や休日、食事の後片付けまで細かく書かれています。

「農家では、仕事も家事も女性の負担が重くなりやすいので、分担を

一人ひとりが活躍できる前橋市へ

「市民一人ひとりが、お互いを大切にし、性別にかかわらず、個性を輝かせて生き生きと暮らすことができる社会の実現は、私たちの願いである」

——これは今から6年前につくられた「まえばし男女共同参画推進条例」の前文の冒頭部分です。「性別にかかわらず」という一節が男女共同参画のねらいを物語っています。「男はこう、女はこう」という決めつけをやめて一人ひとりがその人らしく生きられる社会が、男女共同参画社会なのですから。

今回の特集で紹介されているみなさんは、まさに個性を輝かせて生き生きと暮らしていらっしゃいますね。おそらくは苦勞も多いのですが、女性が中心になって活躍したり、家族で協力して事業を営んだりと明るく元気な前向きの姿勢が伝わってきます。これまでの社会には「男が主役、女が脇役」という傾向があり、男性中心の構造を支えていました。それがいま変わりつつあることがみなさんの様子からうかがえます。

群馬大学 教育学部

さいとう まどか
 齋藤 周 教授



でも、ちょっと気になることもあります。

たとえば「赤城山れんげつつじの会」は全員女性で、塩原さんによると「男性は他の用事で忙しい」のだそうです。男性たちが他の用事から少しは解放されて、女性たちと一っしょに赤城山の活性化に取り組む日が来ることも期待したい。それから長谷川さん、齋藤さん。家族の一人ひとりが得意なことを生かして協力なさっているようですが、ときには役割を交換してあえて不得手なことにチャレンジするのもおもしろいかもしれませんよ。

前橋市の行政には、特集に登場したみなさんの活躍ぶりをみて安心することなく、市民が性別にかかわらず活躍できる社会をつくることに全力で取り組むよう期待しています。

男女共同参画社会ってなあに？

「男女共同参画って難しそう。それに、男らしさや女らしさを否定して男女の立場を逆転させるのでは？」そんな風に思っていないか？

男女共同参画は、「男女が、性別にかかわらず個人として尊重され、その個性と能力を十分に発揮する機会が確保されることにより、社会の対等な構成員として自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、ともに責任を担うこと」を言います。

一人ひとりがお互いを大切に、性別に関わらず個性を輝かせていきいきと暮らすことができる、男女共同参画社会について、身近なことから考えてみませんか？



男女が対等に働ける職場に！



家族で協力！
できることから始めよう！



能力を活かして可能性にチャレンジ！



自立の第一歩！

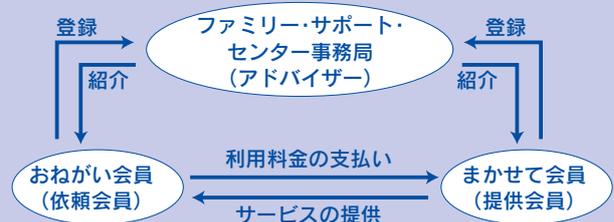
前橋市ファミリー・サポート・センターのご案内

What's ファミサポ？

仕事と育児の両立を支援する事業で、子育ての手助けをしてほしい人（おねがい会員）と子育てのお手伝いをしたい人（まかせて会員）との相互援助活動を行う会員組織です。

* こんな時に利用できます *

- ★仕事と子育てを両立したい！
「保育園、学童保育が休みだけれど仕事は休めない」
- ★自分の時間がほしい！
「買い物や美容院に行きたい！」「講演会に参加したい！」
- ★出産・通院・行事など
「二人目の出産、パパが帰ってくるまでどうしよう…」
「上の子の授業参観、たまにはゆっくりみてあげたいな…」
- ★その他困った時
「いつもみてくれるおばあちゃんに旅行の予定が…」



※現在、「まかせて会員」の登録数は、「おねがい会員」の4分の1となっています。

「興味はあるけど心配で…」という方、「まかせて会員」「どっちも会員」向けに講習会を行っておりますので、活動してみませんか？

問い合わせ、登録申し込みは…

前橋市総合教育プラザ・前橋市勤労女性センター内
前橋市ファミリー・サポート・センター
TEL：(027) 230-9007
メールアドレス：maesuppo@atlas.plala.or.jp
URL：http://business3.plala.or.jp/maesuppo/



夏休み子



ひらはしはるひ
平林 晴飛さん

群馬県畜産試験場 獣医師

平林さんは今年の4月から畜産試験場に勤務。約80頭の牛の診療と管理をしています。

これまでも、牛や馬、豚などの大きな動物を診てきました。



お食事中♪

◆どうして獣医師になりたいと思ったのですか

小さい頃から動物が好きで、乗馬を習っていました。その頃から大きな動物が大好きになって、動物のために働ける獣医師になりました。

◆大きな動物を扱うので、反対されませんでしたか

獣医師というと、犬や猫などペットのイメージがあるので、家族は驚きましたが、私が馬や牛が好きだということを知っていたので、特に反対されませんでした。

◆どうして小さな動物にしなかったのですか

犬や猫などの小さな動物も好きですが、牛や豚などの大きな動物は人間の食生活を支えてくれます。大きな動物を通じて、社会の役に立てるこの仕事を選びました。



うわあ…注射だ！

◆どんな仕事が大変ですか

天気や食べ物で、牛達が体調をくずしたり、病気にならないように気を配ることが大変です。

◆責任を感じるのはどんな時ですか

試験牛は健康でないと信頼される試験成績が出ないので、管理には十分気をつけています。牛などの家畜は、農家の人にとって財産なので、いつも責任を感じています。

◆獣医師になってよかったことは何ですか

家畜と言われる大きな動物の世話をしていると、人と動物の両方が幸せになれるし、動物と関わってられるのが嬉しいです。

◆獣医師を目指す人へメッセージをお願いします

今は女性も活躍していて、男女関係なく目指せる仕事です。

犬や猫の獣医師だけでなく、検査や研究をする人もいます。色々なことに興味を持って、獣医師という職業の中でも多くの役割があることを知ってもらい、がんばってほしいと思います。

夏休み子ども記者はこんな日程でした

1日目 7月22日 (水)

男の仕事、女の仕事ってあるのかな？ 将来なりたい職業について考えたり、インタビューの内容について話しあったりしました。



インタビュー前は
ドキドキ/ワクワク！

2日目 7月24日 (金)

畜産試験場で、獣医師さんと研究員さんのお仕事を見学して、インタビューをしました。



そうなんだ！



ロボットで乳しぼり！？

3日目 7月29日 (水)

インタビュー記事をまとめ、レイアウトを考えて紙面を作りました。



どこに置こうかな～

ども記者

市内の小学生11人が、3日間の活動を通して、性別に関わりなく自分らしい生き方が出来る「男女共同参画社会」について学びました。

自分らしく好きなことや得意なことを活かして活躍する人達を「子ども記者」としてインタビューをし、記事の作成までを体験しました。



とまる ともひさ
都丸 友久さん

群馬県畜産試験場 研究員

都丸さんは、畜産試験場の研究員として6年目。搾乳牛についての研究をしています。



集中！

◆どうして研究員になったのですか

学生の頃は農業を勉強していたのですが、前の職場で乳牛より少し小さい牛を牧場で飼っていました。その仕事をしてみて、もっと牛のことをくわしく知りたいと思い、この仕事を選びました。

◆どういう仕事ですか

乳牛にどんなえさをどのくらいの量で食べさせればお乳がたくさん出るか研究しています。

これからはお米を食べさせてお乳をたくさん出す研究をします。

◆研究員は楽しいですか

すごく楽しいです。時間をかけてお乳を出すえさの量を計算して、その計算通りにお乳が出るととても楽しいからです。また、お乳の成分を理科の実験みたいに調べることも楽しいです。

◆お手本にしたり、尊敬している人は誰ですか

北海道や栃木などの研究員さんなどをお手本にしています。また、尊敬している人は、この畜産試験場で酪農を研究していた先輩方です。

◆仕事で一番大変なことは何ですか

乳牛は、毎日搾乳をしなくてはなりません。そのため、土曜日や日曜日、夏休みも休まずに仕事をしていることが一番大変です。でも、その一番大変なことがとてもやりがいのある仕事だと感じています。

◆仕事で一番大切なことはなんですか

天気や食べ物で体調をこわすデリケートな動物なので、えさを変えても健康でお乳がたくさん出るように気をつけています。



赤ちゃんは元気に育っているかな？

子ども記者からひとこと！

大きな動物の獣医さんは男性の仕事だと思っていた。でも、取材をして獣医さんはいろいろな役割があるということを知ることができたので、男も女も関係ないと思いました。

4年 千吉良佳音

私はインタビューを初めて経験しました。牛についてわからないことがたくさん聞けて、勉強になってよかったです。

4年 高橋かれん

初めてインタビューに行きました。牛を最初に見てから質問をして、わからなかった質問の答えがわかってよかったです。

4年 永井初花

私は、初めての子ども記者でした。最初は、どんなことをやるのか不安でした。でも、やってみるとすごく楽しかったです。来年もやりたいです。

4年 養田有香

私は、子ども記者の体験は2回目ですが、今回もまたドキドキ感を味わいました。特に牛のお乳をしぼる機械には、目を見はりました。この夏休みの貴重な体験ができて良かったです！

5年 木檜葉月

ぼくは、平林さんと都丸さんが牛のためにいろいろなことをして、大変だと思いました。でも、ぼく達のためになっているので、すごくやりがいのある仕事なんだと思いました。

5年 湯澤周平

子ども記者を体験して、獣医さんが女の人で驚きました。職業に男の仕事、女の仕事は関係ないと解りました。

5年 神宮ひかる



みんなで一緒に♪
パシャッ！

今年はとても勉強になりました。研究員の都丸さんは、乳牛のお乳をどうすればよく出るか研究していて、よくわかりました。5年生、6年生と2回記者をやって、とても勉強になりました。

6年 小柏悠太

牛はおだやかそうだけど、天気や食べ物で体をこわすデリケートな動物と聞いてびっくりしました。あと、牛からお乳をとるのを初めて見たので、おどろきなどを感じました。

6年 黒田藍依

都丸さんは最初、野菜などの勉強をしていたのに、仕事の都合で酪農のことを勉強し始めたことと聞き、「すごいなあ」と思いました。私も都丸さんみたいに何事もがんばりたいと思いました。

6年 山本みずほ

私の夢はパティシエになることです。おかしが好きだからです。将来はパティシエになって、みんなに自分で作ったお菓子を食べてもらいたいです。

6年 養田百香

男女共同参画室だより

ぐんま男女共同参画センターオープン！

群馬県の施設である“ぐんま男女共同参画センター”が平成21年5月にオープンしました。

この施設は、男女共同参画社会づくりへ向けた事業、活動、協働、連携を推進するための総合的な拠点施設です。各種セミナー・研修・講座・情報誌発行や、相談事業（DV相談等）などを行っています。

開館時間：火～金 9時～21時 土・日・祝日 9時～17時

休館日：月曜日（祝日の場合直後の平日）、12月29日～1月3日、所長が指定する館内整備日

問い合わせ

ぐんま男女共同参画センター

〒371-0026

前橋市大手町1-13-12

TEL：027-224-2211

駐車場：県庁内県民駐車場をご利用
ください。



男女共同参画相談室からのお知らせ

配偶者や恋人からの暴力、セクハラなどでお悩みの方はお気軽にご相談ください。
(男女問わず受け付けております)



時間 月曜～金曜 8:30～17:15
場所 前橋市本町一丁目5-2職員研修会館2F
男女共同参画相談室
電話 (直通)

027-898-6520

編集後記

今年度は2名の編集委員が交替となりました。幅広い年代の方が集まり、新しい発想で編集に取り組んでいます。編集委員の皆さんに、お一人ずつコメントをいただきました！

家庭では3人兄弟の父親です。子育て中の立場を活かし、自身のスキルアップと前橋の男女共同参画の向上に向けて頑張ります。

若井 宗則

大きく広がった前橋市。人の繋がりも広がってゆきます。自然や生活を大切に個性豊かに輝いている素敵な方々から感動をいただきました。

鈴木 美知子

市行政自治委員284名全員が男性。今でもこんな世界が？

私の町でも3名の女性組長の名前がご主人名に。ウーン…

橋本 寛文

「女らしく」「男らしく」から「自分らしく」へ。

みんなで一緒に考えていきませんか。

角田のぶ子



前橋市も市域が広がりました。それぞれの地域の個性を生かした相乗効果が出れば、と願っています。

高坂 均

<<新樹をご希望の方は下記までご連絡ください。22号のご意見・感想もお待ちしています！>>

発行日：平成21年10月1日 編集：「新樹」編集委員

発行：前橋市 いきいき生活課 男女共同参画室 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2職員研修会館2F

直通電話：027-898-6517 FAX：027-221-6200 メールアドレス：sankaku@city.maebashi.gunma.jp